

こんな時、どうする？

ジュニア・リーダー 活動アイデア集



一般社団法人宮城県子ども会育成連合会

宮城県シニアリーダーサークル ZEST

目次

- ① 「後輩育成」について
- ② 「ジュニア・リーダー活動卒業後の進路」について
- ③ 「子どもとの接し方」について
- ④ 「サークルメンバーや担当者さんとの
コミュニケーションの取り方」について
- ⑤ 「学校との両立」について
- ⑥ 「広報活動」について



①「後輩育成」について

～悩みと解決方法～

〈想定される悩み〉

- ①後輩の積極性について(前に立つ積極さが無い、声が出ていない、話を聞いてくれない等)
- ②後輩に教える上でどこを重要視したらよいのか

〈解決方法〉

- ①後輩の積極性について(前に立つ積極さが無い、声が出ていない、話を聞いてくれない等)

前に立った時に怖く(不安になったり、プレッシャーを感じたり)ならないように、周りから盛り上げてあげる(ゲーム中のフォロー、いいねー!と声を上げる等)と前に立つ人はとっても話しやすくなります。

また、子どもたちに教える楽しさを先輩がお手本になり披露して見せること大事です。言葉で伝えようとせず、動いて見せてあげることも大切です。

声をしっかり出してもらうには、みんなで大きい声を出す練習をするのもいいです。みんなで実践してみると楽しいし、後輩だけでなく先輩も自分を見直す時間ができそうですね。

話を聞いてもらうときは、堅苦しく話しても聞く気が持てないことが多いので、楽しくやりながら覚えたりするのがいいと思います。シニアリーダーを見て盗むのも一つの手です。

- ②後輩に教える上でどこを重要視したらよいのか

後輩に教えるときははっきり言うことも大切です。ただ、“怒る”のではなく“叱る”ことをしてください。

ただただ“怒る”のは、ボスのやること。ボスは、怒り命令し人を従わせます。リーダーは、人のお手本となり人を導きます。“怒る”ことをしても人を導けませんよね。“叱る”ことをして正しい方向へ導いてあげてください。

また、言葉だけでなく、動いて見本を見せるのも大切です。

〈ワンポイントアドバイス〉

後輩育成というのは、みんなが抱えることだと思います。後輩にどう話したら通じるのか、どう動いたら後輩は積極的になってくれるかなどたくさん考えると思います。

周りにも同じ悩みを抱えているジュニア・リーダーさんはいると思うので、同じ地域の人や他の地域の人たちに聞いてみたり、解決した話を聞いてみたりすることも大切です。また、シニアリーダーをみて真似たりするのも一つの解決方法だと思います。

みんなで力を合わせることが解決の近道です！頑張りましょう！



②「ジュニア・リーダー活動卒業後の進路」について

～悩みと解決方法～



<想定される悩み>

- ①シニアリーダーサークルに所属しようか悩んでいる
- ②シニアリーダーに興味はあるが、新たな活動にも興味があり、取り組んでみようか悩んでいる
- ③活動に区切りをつけようか悩んでいる

<解決方法>

①シニアリーダーサークルに所属する

宮城県には「シニアリーダーサークル」が複数ありますが、ここでは「宮城県シニアリーダーサークル ZEST」(以下 ZEST)を例に説明します。ZEST は宮城県子ども会育成連合会(以下県子連)の下部組織として、主催事業・県子連事業協力・派遣依頼など多岐にわたり活動をしています。所属するメンバーの年齢層は 10 代～40 代までと幅広く、職業も様々です。

また、シニアリーダーとして活動する目的も様々です。「地元でシニアリーダーを立ち上げたいから勉強する」や「ジュニア・リーダーで学んだことを後輩に教えたい」など、熱い思いを持ったメンバーが集まっています。

②ボランティア活動を行う団体に所属する

学生ボランティアや社会人ボランティア、海外ボランティアなど自分がやりたいと思えるものに近い団体を見つけて活動します。ジュニア・リーダーから離れたボランティア活動であったとしても、ジュニア・リーダーでの経験は生きてくるはずですよ！

ボランティア活動を行う団体は宮城県内にもたくさんあります。自分に合う団体が見つかると思いますよ！！

③一度、ボランティア活動から離れてみる

ジュニア・リーダーの活動で、やりたいことはやり尽くしましたか？それとも、進学や就職などの新たなステージで忙しくなるから、活動はしたいけど難しいな…と思っていますか？

「迷ったときは引いてみる」のも手段の一つですよ。一度離れてみて「やっぱり戻りたい！」、「やっぱり続けたい！」、「ボランティア活動がしたい！！」と思ったら、またいつでも始められます！！その時は ZEST 入会も検討してくださいね(笑)

<ワンポイントアドバイス>

ジュニア・リーダーを卒業後、進む道は人それぞれです。ほとんどの団体は見学ができます。迷ったら挑戦の道に進むのも面白いと思います！（ZEST はいつでも見学 OK！君の挑戦を待っている！！）ちなみに、ZEST では、ジュニア・リーダーでは学べなかったことも学ぶことができ、新たな発見もあります！

「どの道が正解」というものはありません。自分に合った進路を自分で見つけましょう！

ZEST のメンバーは、小さな悩みや考えでも一緒に考えます！悩んだ時は相談してください！

③ 「子どもとの接し方」について

～悩みと解決方法～



〈想定される悩み〉

- ・子どもにどのように接したらいいか悩んでいる
- ・子どもと心の距離を縮める方法を知りたい

〈解決方法〉

2つの悩みについて、以下の方法を挙げます。

①笑顔を意識し、無言にならないこと。

子どもは、笑顔があって楽しい人とかかわりたいです。誰も無表情な人とかかわりたくないですよ。笑顔は、最高の道具です！

②物理的な距離を縮めること。

子どもとの距離感（パーソナルスペース）を縮めることが、仲良くなるコツです。昨今、フィジカルディスタンスと言われますが、子どもとの距離が近くなる必要があります。隙を見せたら、ちょっかいを出したり、肩をとんと優しくタッチしたりするなど、子どもとの距離間を図りましょう。嫌がられない程度が大切です！

逆に子どもからちょっかいを出されたら、笑顔で応えましょう。子どもは遊びたいと思ってかかわってきたので、ここで嫌な顔をしたら「この人は遊んでくれないんだ。」となり、距離を縮める前に遠のいてしまいます。

③子どもが話す話題で知らないときは、教えてもらうこと。

人それぞれ流行りに乗る人と乗らない人がいますね。多くの子どもは流行りに乗って、友だちの会話を楽しんでいます。ジュニア・リーダーが子どもたちの話題にのっかると、「え、知ってるの？」と目を輝かせて話し始めます。しかし、あなたが知らない話題であっても教えてほしいと伝えると、同様に目を輝かせて話し始めます。

子どもとの会話を通して信頼関係が構築されるので、話題が見つからないときには子どもに話してもらいましょう。

〈ワンポイントアドバイス〉

3つの方法を、ぜひ意識してみてください。何から始めたらいいか分からなければ、まずは笑顔から始めましょう！心からの笑顔は、子どもを笑顔にしますし、子ども会等で関わる大人の方をも笑顔にします。

子どもとのかかわりが深まると、子どもになめられるようになってきます。なめられると、伝わるものが伝わらなくなります。伝わらないからといって感情的に注意すると、せっかく築いた距離感が壊れてしまいます。

ここで覚えておきたいのが、「怒ると叱るの違い」というものがあります。

もし子どもとかかわっていて、怒りたくなった時に思い出してください。何か注意するときにも必要なポイントです。

ポイントは、感情に任せて子どもの人格や性格について説くのではなく、何がいけなかったのか理由を伝えることです。そして、どうすべきなのか考えさせることが大切です。

④ 「サークルメンバーや担当者さんとのコミュニケーションのとり方」について

～悩みと解決方法～

〈想定される悩み〉

【1】担当者さんとのコミュニケーションのとり方について

- ①忙しい担当者さんの場合
- ②どうコミュニケーションをとっていいかわからない

【2】サークルメンバーとのコミュニケーションのとり方について

- ①どう接していいかわからない
- ②活動に参加してくれない

〈解決方法〉

【1】①の場合

- ・やってほしいこと、準備して欲しいものなどは的確に伝える
- ・他町村のジュニアからイベントなどの情報を仕入れる
- ・担当者とジュニアで協力し合い、仕事を分担する

【1】②の場合

- ・積極的に話しかける
- ・担当者自身のキャンプネームを考えてもらう
- ・ダンスやゲームに誘ってみる(ほぼ強制参加)

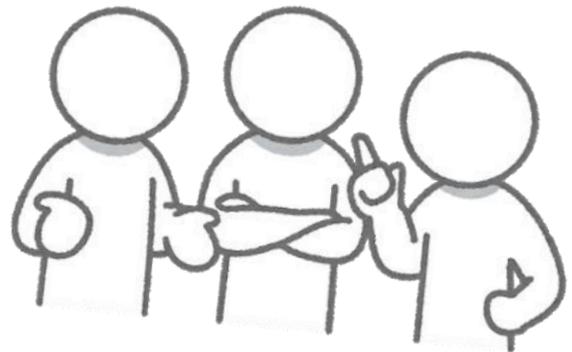
【2】①の場合

- ・学校ですれ違ったら笑いかける？
- ・先輩から後輩への連絡をマメにする
- ・レクなどを通じていじってみる
- ・結論焦らず徐々に距離を縮める！
- ・共通の話題などを通じて話す

【2】②の場合

- ・グループなどで早めに活動があることを知らせる→1週間前にもアナウンスをいれる
- ・個別で参加の有無を聞いてみる
- ・先輩も待ってるよ！誘いかける
- ・部活などの休みの日を狙って定例会を開催する
- ・定例会のときにジュニアの活動は楽しいもの！と刷り込む
- ・それぞれに自分のジュニア活動に対するの楽しみを見つけてもらう

♪子供と関わるのが楽しい、活動証明を残したい、活動が好きだから、気が合う仲間と集まりたい、など理由はなんでもいいから参加したいと思う理由を作ってもらおう



〈ワンポイントアドバイス〉

- ・「とにかく自分たちから働きかける！」ことが大切！！
- ・子どもたちのために出来る最善をつくすことを意識する！！
- ・絶対頑張っているのを見てくれる大人はいることを忘れずに！！

⑤ 「学校との両立」について

～悩みと解決方法～



<想定される悩み>

- ①活動に参加すると勉強する時間がなくて成績がよくない
- ②休日にも部活動があって活動に参加できない

<解決方法>

- ①課題や予習復習は休みの日にまとめてやろうとせず、空いた時間に見よう！

土日に活動が多いので、どうしてもまとまった勉強時間をとることは難しい！そんな時は、平日の夜などに課題やその日学んだことをすぐ復習する、明日の予習も終わらせてしまう習慣をつけてみてください。「一日学校で勉強してきたのにまだやるのか～」と嫌になりますが、土日に疲れた身体のまま切ぎりぎりになってやるよりも、心に余裕もでて楽な気持ちで取り組めます。

→もし定期考査前に活動が入ってしまった場合は、すぐ担当者の方や先輩・同級生・後輩に相談しよう！

「勉強しなきゃばいけど自分の他に行ける人もいないし仕方ない…！」となっている方は、一度相談してみるのも◎。一人で悩まず、大人の方や先輩・同級生・後輩を頼っていきましょう！

- ②それぞれ話し合っ、自分に合った活動形態を見つけよう！

私が現役時代、周りにはジュニア・リーダー活動を優先するために部活に入らない(or 平日の活動のみ)の人もいれば、定例会には部活終わりに遅れて参加や、派遣には長期休みだけ行くなど部活動と折り合いをつけながら活動している人がいました。どれがいいかはその人次第！自分の所属しているサークルの雰囲気に合わせて、活動形態も決めていきましょう。

→悩んでいるときは直接相談してみるのが、一番であり確実な解決方法。あまり活動に参加できないとしても「報・連・相」をしっかりとっているだけで周りの評価は変わってくるはず！

<ワンポイントアドバイス>

自分はどうしてジュニア・リーダー活動を続けているのかを改めて考えてみてください。わざわざ休みの時間を割いてまでボランティアをしているのはどうしてか？平日休日共に予定がパンパン、自分の時間を取れずに悩んでいる方も多いと思います。中には「学校生活は適当だけど、ジュニア・リーダー活動やってるし、別にいいか」と考えている方もいるかもしれません。しかし、活動一筋だけではダメなんです。

これからも活動されるみなさんは【学業をこなしてこそそのボランティア活動】ということ覚えておいてください。入る際や担当者の方から言われたことはあっても、活動を続けていくと忘れがちになってしまいます…。

また、テスト期間はジュニア・リーダーを休むことや、午前だけ活動して午後は勉強など勉学を優先する。部活動は部長や顧問に相談して、大会前以外の休日は活動を優先するなど、学校とジュニア・リーダー活動の優先順位を決めてこの悩みを解決した現役ジュニアもいます。このアドバイスが少しでも役に立てたら幸いです。

中学校・高校のそれぞれ3年間は、その場でしか経験できないような出来事が沢山あります。

ぜひ、ジュニア・リーダー活動はもちろん、学校生活も楽しんで過ごしてください！

⑥「広報活動」について

～悩みと解決方法～

〈想定される悩み〉

- ①どのような広報活動をすれば良いかわからない
- ②効果的な手段(チラシ、ポスター、ラジオ、HP、SNS等)を知りたい

〈解決方法〉

- ①あなたのサークルでの“広報活動の目的”をあらためて考えてみてから広報活動を始めてみましょう。

人数が少ないサークルは“新人の勧誘”

活動での参加者の人数を増やしたいときには“参加者の募集”

サークルで行っている活動を知ってもらいたいときには“これまでの活動の共有”

まずは、その目的に沿った内容の情報を発信していくところから始めて、慣れてきてからさらに情報を加えていけば、内容がぐちゃぐちゃにならずに必要な情報だけを発信することができると思います。

- ②これは、一概にコレ！というのはありません。

自分達の地域に1番合うもの考えることが大切になります。サークル内で考えて実践してみましょう。

私個人が思っているのは「紙媒体(チラシ、ポスター等)のものは必ず作成し、地域の学校に配りに行くことは必須！」ということです。お便りなどは紙が主流なので、そこを怠る手はないと思います。

また、最近だとSNSなどインターネットを活用した手段も増えてきました。情報が広がる速さが紙媒体とは桁違いなので、これから活用していく手段の一つに加えても良いでしょう。ただ、プライバシー保護の面で不安があるのも事実なので、はじめる際には大人(担当者等)をバックにつけることが必須になるでしょう。

〈ワンポイントアドバイス〉

最後に私から一言。

広報活動というのは、やったとしても結果に結びつくかは定かではなく、やらなければ何も効果が生まれない。というとても難しいものです。

そのため、とにかく“今効果的であろうことを考える”ことと、その“考えることを継続していく”ことがとても大切になります。

今は昔と違いインターネットを活用した方法も多くなってきました。やり方は無限大です。昔のやり方にこだわらず、常に考え、常に進化させていってください。



企画・編集

宮城県シニアリーダーサークル ZEST

令和2年度宮城県市町村ジュニア・リーダー技術研修会（高校生）実行委員会

ジョニー、ぶんぶん、ピース、ジミニー、すよん、うめは、QOO

協力

「令和2年度宮城県市町村ジュニア・リーダー技術研修会(高校生)」事前アンケートに

協力してくれたジュニア・リーダーのみなさん



ZESTには個性豊かな仲間が沢山!!
どんな活動をしているのか気になった方は
ぜひ公式HPをチェック!! (えうびない方も◎)



「こんな時、どうする？ジュニア・リーダー活動アイデア集」

令和3年3月発行

発行者 宮城県シニアリーダーサークル ZEST

編集 令和2年度宮城県市町村ジュニア・リーダー技術研修会(高校生)実行委員会

問い合わせ 一般社団法人宮城県子ども会育成連合会
〒983-0836
宮城県仙台市宮城野区幸町4丁目5-1
電話 022-299-0737
F A X 022-257-5155
メール zest.slc.miyagipref☆gmail.com
※「☆」を「@」に変えてください